

## 技長のひとり言

### ■人生

現在、リオデジャネイロオリンピック男女マラソン代表の国内選考レースが開催中である。毎度のことであるが、選考については物議をかもし、オリンピックに出場することは競技人生に大きく影響するため、わかりやすい選考と納得いく説明を求める声があがる。

1980年～90年代にマラソンランナーとして大活躍した双子、宗茂（兄）・猛（弟）がいる。兄弟は実業団陸上部の名門である旭化成（宮崎県延岡市を拠点に活動する）に所属し、モスクワオリンピック（1980日本はボイコット）やロサンゼルスオリンピック（1984）に揃って日本代表となった。また、多くの国際マラソン大会でも活躍したが、珍しいことは1985年の北京国際マラソンで兄弟同タイム（同タイムだが着順で決定）の茂が優勝、猛は2位となったことである。国際大会で兄弟1・2位の独占は世界初の快挙であった。

調べてみると兄弟揃って出場したマラソン大会は22回あり、兄弟で先着した数は茂12回、猛10回である。また、兄弟で1・2位となった大会は4回あり、そのすべてで茂が勝っている。

現在、茂は旭化成陸上部顧問、猛は総監督となり、日本を代表する長距離ランナーの育成に尽力している。その双子指導者を慕い、2015年4月に2組の双子ランナーが入部した。このことも珍しいことのようにあるが、総監督の猛は、「双子のいい点は、どちらかがいい記録を出せば自分もやれると思えるところ。」と語っている。2組の双子ランナーに注目したい。

20年も経っただろうか、島根で講演された宗猛指導者の話を聞く機会があった。内容をまとめると次のとおりである。

心が変われば、態度が変わる。  
 態度が変われば、行動が変わる。  
 行動が変われば、習慣が変わる。  
 習慣が変われば、人格が変わる。  
 人格が変われば、運命が変わる。  
 運命が変われば、人生が変わる。

数々の事例を交えながら話され、心に響いたことを思い出す。

全ての人に与えられた時間をどのように過ごすかは自由であるが、気持ちや考え方によって人生は変わり豊かになるということだ。

人の思考や行動の最も根本にあるのはその人の心である。変えたいでは変わらないが、変えるという強い意志であれば変えられると考える。新たな自分への挑戦と期待をしてみよう。先にある豊かな人生のために変えよう。

### 編 | 集 | 後 | 記

春の訪れを感じる13日に卒業式が挙行政され、138名の卒業生が巣立っていきました。4月を年度の初めとするこの国では、3月は慌ただしく落ち着かない気持ちにさせるものがあります。新しいステージに立とうとする人たちは、準備に追われ、多くの希望と期待、不安や心細さなど様々な思いやしななければならないことでいっぱいです。見送る私たちは寂しさや少しの心寒さを感じながら、その背中を送ります。

みなさんに新しい日々が始まります。背中に応援の視線を受けながら、一步を踏み出していきましょう。